

新計画の将来像等の検討にあたって

山元町震災復興計画 復興の将来像「キラリやまもと！みんなの希望と笑顔が輝くまち」

基本理念1 災害に強く、安全・安心に暮らせるまちづくり／基本理念2 だれもが住みたくなるようなまちづくり／基本理念3 つながり大切に作るまちづくり

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1 生活 ～心豊かな町民生活を実現する笑顔あふれるまち～ | 5 防災・安全・安心 ～自助・共助による防災意識の高いまち～ |
| 2 産業 ～山元町ブランド産業を復興し、創造する活力あるまち～ | 6 都市整備 ～災害に強く人にやさしい利便的なまち～ |
| 3 保健・福祉 ～充実した医療・福祉体制に支えられるまち～ | 7 環境 ～環境に配慮し、自然エネルギーを活用したまち～ |
| 4 学校教育・生涯学習 ～家庭・地域・学校の協働のもとで夢と志を育むまち～ | 8 行財政運営 ～復旧復興を最優先に行政サービスを提供するまち～ |

①社会情勢

地方創生

急速な人口減少
超高齢社会の到来

持続可能な開発目標(SDGs)
の採択

「物の豊かさ」から
「こころの豊かさ」へ

地域コミュニティの機能の低下

地方への移住を考える
若者等の増加

IoT やビッグデータ、
人口知能(AI)等の技術革新

インバウンド観光の拡大
働き方改革・外国人雇用

高齢者向け医療・介護
生活支援サービスの需要の高まり

地方自治体の行財政の悪化、
自主財源の確保

空き家・空地の増加、インフラ維持・
管理、災害への危険性への課題認識

山元町の現状

東日本大震災による
大幅な人口減少、少子高齢化

過疎地域指定

2つのインターチェンジの供用、
JR常磐線の運転再開

震災後の交流人口の増加

全国からの支援・つながり

沿岸部の農地大区画化

②復興計画における課題

地域の魅力を生かした定住人口確保

協働による子育て・高齢者支援の充実

教育の質の向上と学習環境の充実

防災力の維持や生活利便性の向上

環境に配慮したコンパクトな
まちづくりの推進

産業や伝統文化・市民活動など
まちづくりを支える後継者育成

各産業における人材確保対策

③まちづくりに対する町民意向調査一部抜粋(参考資料1)

【一般町民・若者】

町のイメージ(中学生との共通認識):「自然が豊か」「環境にやさしい」「安全で
安心できるまち」「人と人との交流が盛んなまち」

居住継続意向:「今後も山元町に住み続けたい」が7割以上。若い世代の定住
意向が低い(4割は「まだわからない」)。

満足度が低い項目:「公共交通の便利さ」「日常の買い物の便利さ」「空き家・
空き地活用の推進」「雇用の場の確保」。

解決すべき課題:「働く環境」「生活環境の利便性」に関わる項目の解決が重要。

【中学生】

町のイメージ:「町がすき」「山元町に自慢できるものがある」「住みよいまち」

将来の意向:大人になったら働きたいところとして「山元町」を選んだ人は1割。

④町長のマニフェスト

「来て・見て・食べて・住んでよし」
「交流・関係から定住へ、住むならやっぱり山元町」

- 子育て 婚活 定住支援の充実・強化
- 交流人口「100万人」を目指した交流拠点整備の推進
- 企業誘致 農業再生で雇用の場 所得向上を実現
- 教育 文化 スポーツの振興
- 町の発展をリードする拠点形成の推進
- 治水・排水対策 生活道路の維持補修の推進
- 心の復興 絆・コミュニティ再生の推進

本日の検討部分

<今後も継承すべき視点(例)>

- キラリやまもと
⇒喜びと笑顔に満ち溢れ、賑わいあるまち
- 安全・安心
⇒防災にとどまらず、「減災」も視野に入れ、災害が発生しても
速やかに復旧できるまち
- 人と人の「絆」
⇒地域のコミュニティ・つながり、歴史や文化を大切にするまち
- 快適・魅力あふれる
⇒人口減少も視野に入れながら利便性が高く、誇りを持てるまち

<新たに追加すべき視点(例)>

- 創造的な復興のトップランナー
⇒新しい創造的まちづくりのモデルとなるまち
- グローバル・世界水準 ⇒グローバルな取り組みを基準とするまち
- 交流・関係から定住へ
⇒様々な人と人との交流による、住み続けたいと思うまち
- 多様な就業環境
⇒企業誘致、創業支援など、就業環境の充実したまち
- 次世代の育成 ⇒子育てしやすくふるさとに対する「愛」と「誇り」、
将来への「夢」を育むまち
- バランスのとれた地域振興 ⇒丘通り(山間部)の活性化
- 官民連携のまちづくり
⇒町民・民間の活力を積極的にまちづくり活かすまち
- 心の豊かさの実感 ⇒健康で生涯にわたり活躍できるまち
- 持続可能なまちづくり ⇒行政経営の観点から効率的なまち